



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費を含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉 松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760

新公益法人制度への対応等を決定 — 消防協会第三回理事会開催 —



秋田県消防協会の第三回理事会が、平成二十一年一月二十九日に秋田市で理事十三名、監事一名が出席して開催され、「新公益法人制度改革の概要と対応(案)について」ほか七件の協議事項を決定するとともに、八件の報告事項等を了承した。

このなかで、「新公益法人制度改革の概要と対応(案)について」では、昨年十二月一日に公益法人制度改革

三法が施行され、各法人では、平成二十五年十一月三十日までの五年間の移行期間内に法人の移行を行う必要があることから、当日は事務局が「新制度の概要」を説明するとともに、「新公益財団法人への移行方針(案)」を示した。

この度の制度改革は、従来からの民法による法人制度から180度近い変革があったので、まず役員に十分な理解を持って頂きたいこと、制度設計にかなりのコストと労力があること、協会役員の任期をにらんでの移行作業となること等について事務局が説明したのち、平成二十三年度に新公益財団法人への移行を目指す原案が了承された。今後、協会事務局のより精力的な取り組みが求められる。

このほかの協議事項は次のとおりである。

- 協議事項**
- 一 平成二十一年度協会行事予定について
 - 五月十二日 第一回理事会
 - 五月二十七日 代議員会
 - 七月二日 第六十二回秋田県消防大会(横手市)
 - 八月二十七日 全県慰霊祭
 - 九月三日 第四十六回秋田県消
 - 二 防操法大会(秋田県消防学校)
 - 十月二十二日 第十九回全国女性消防操法大会(横浜市)
 - 十一月二十六日 全県消防団長研修会
 - 三 一月二十八日 第三回理事会
 - 二月中旬 第二回女性消防団員ネットワーク会議
 - 四 第十九回全国女性消防操法大会の出場隊について
 - 秋田市女性消防団が出場
 - 五 事務局長の給料月額改正(案)について
 - 原案のとおり改正
 - 六 退職慰労金の支給(案)について
 - 事務局長の退職に伴い、原案による支給を決定
 - 七 平成二十一年度法令外負担金の決定について
 - 市長会、町村会からの決定通知を受けて各支部の負担金を決定
 - 八 平成二十一年度暫定予算(案)について
 - 二十一年度の暫定予算案を決定
 - 九 秋田県消防協会役員の任期について
 - 本年五月に任期満了となる役員の選出方法を決定

平成二十年度全国統一防火標語
『火のしまつ 君がしなくて 誰がする』

第三十五回消防団幹部特別研修に参加して

能代市連合消防団能代消防団

団長 中 田 潤

日 時 平成二十一年一月二十日(火)
二十三日(金)
場 所 日本消防会館



全国各都道府県から代表一人ずつ、団長もしくは副団長が四十七名参加した。

一日目は受付後、研修についての説明を受け、新日鉱ビル地下一階にて意見交換会が開催され、研修生同士の親睦を深めた。

二日目から三日目は、理事長講話後、各専門分野に関する項目毎、五十分単位で進められた。講師は総務省消防庁から五名、東京消防庁から二名、消防団責任者が二名と病院理事長一名。また、二時間かけて東京消防庁第二消防方面本部第二方面消防救助機動部隊(ハイパーレスキュー)を視察した。

四日目は、昨年六月に地震災害を受けた宮城県栗原市消防団团长坂本氏から活動事例を紹介して貰い、四日間有意義な研修であった。

今回の研修で一番印象に残ったのが、聖路加国際病院理事長日野原氏の講演である。九十七歳の高齢にかかわらず、厚生労働省の行政を厳しく批判するは

かりでなく、医療システムを改革しようとして活動している情熱を感じた。今から五十年前に高齢者年齢を六十五歳に決めたが、その時点の平均寿命が六十二歳。現在は男八十歳・女八十六歳であるが、一度決めた法令はなかなか変えようとしてない役人に問題があると指摘。米国では看護師がかなりの分野で医療行為が出来る。日本でも医師法の枠組みにとらわれず、例えば消防の救命士の気管挿管や薬剤投与の行為が可能になった様に改革の余地はまだあると思う！

続いて印象に残ったのが、東京都赤羽消防団分団長小澤浩子女史。消防活動の内容そのものより、とにかく話し上手であり場馴れしていると感じた。後で聞いた話では彼女は元アナウンサーであり、今でも結婚披露宴などの司会を業としていたとの事。その他、消防庁からの講師は役人らしく、一般的に必要な事項を研修生に伝えたと言う感覚で受け止められ、むしろ団関係者から意見を聞き出す様なこともあって良いと思った。日本消防協会も簡単なアンケート調査のペーパーを提出させたが、今後の研修のためにも各自の感想を充分に引き出す努力をしてはと感じた。

消防団幹部

第五十三期教育

― 於 秋田県消防学校 ―

全県消防団の班長以上の幹部の教育訓練を目的とした「消防団幹部第五十三期教育」が、十一分団から二十八名が入校して行われた。

一日目の一月十七日は、建物火災での現場指揮・活動要領、安全管理を、二日目の一月十八日は、操法大会での消防活動訓練、林野火災・遭難時の現場指揮や訓練礼式を学んだ。

今回の教育は、特に実災害での対応講義を増やしたことにより、全般的に受講意欲が高かった。また、昨年三種町消防団が参加した全国消防操法大会のビデオ鑑賞後のグループ討議では特に活発な意見交換があり、消防操法に対する想いの強さとともに、実科訓練でも随所に幹部としての意識の高さが感じられた。

受講生の皆さんの今後の現場での一層の活躍を期待したい。



消防団員

基礎教育第五十四期

― 於 秋田県消防学校 ―

消防団入団三年未満の教育訓練である「消防団員基礎教育第五十四期」が、全県消防団から十三名が入校して行われた。

一日目の二月二十一日は、消防団の組織制度、ポンプ車操法の概要、救助を、二日目の翌二十二日は、火災防ぎよ、安全管理、緊急自動車運行管理、訓練礼式を学んだ。

団員は、初めての団員教育が今後の団活動に大いに役立ったものと思われる。

この教育は、年二回開催しているが、夏の開催には団員の多忙と重なり、ここ数年参加者がゼロとなっている。消防団員の役割の重要性が叫ばれている折りでもあり、市町村消防担当者の皆様には、是非とも入校を勧めてくださるようお願いしたい。





第18回大会で準優勝した大館市女性消防隊

来年度の 全国女性消防操法大会に 秋田市女性消防団が出場

平成二十一年十月二十二日に横浜市を会場に行われる「第十九回全国女性消防操法大会」に、秋田市女性消防団の出場が決定した。
一昨年の第十八回大会で本県から出場した大館市女性団が全国準優勝を勝ち取っており、秋田市女性消防団への期待はいやがうえにも高まっており、大会までの厳しい練習を乗り越えての健闘を祈りたい。

第三十二回 消防職員意見発表県大会 二月十八日 於 秋田市

県内各消防本部の消防職員が、現場で感じたことの発表や提言を行う第三十二回消防職員意見発表県大会が行われ、全県各地域から選ばれた十三人が意見発表を行った。

近年の救急業務の増加とあいまって全般的に救急にかかわる意見発表が多かったが、審査の結果、由利本荘市消防本部の鈴木伸欣さん(34)が「災害時の空白を埋めるために」と題して、地震や豪雨などの大規模自然災害は常備消防だけでは対応が困難であり、地域の消防力強化のため「普通救命講習時の地域住民への災害対応知識の提供や消防団の操法訓練をより実践的なものに転換すること」を提言して最優秀賞に輝いた。



鈴木さんは、四月二十三日に福島市で開催される東北大会へ出場する。

このほか、優秀賞には、秋田市消防本部の白山友彦さん(24)と横手市消防本部の藤井啓介さん(24)が選ばれた。

【新消防団長紹介】



大潟村消防団
団長 高橋 重男(57才)

(たかはし しげお)

昭和四十六年一月 大潟村消防団入団
昭和六十三年三月班長、平成五年四月部長、平成九年六月副団長、平成十三年二月一日分団長、平成十七年一月副団長、平成二十一年一月団長(農業)

旗 団 帯 天 半 防 消
旗 旗 旗 旗 旗 旗
ゼ ッ ケ ン
の れ ん
手 拭 ・ タ オ ル ・
旗 幕 類 名 入 染 物 専 門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

消防団多機能消防車を二十一年度も交付を継続

― 日本消防協会役員会で決定 ―

平成二十一年二月十三日に東京都日本消防会館で開催された日消役員会で、消防団多機能車交付事業を二十一年度も継続等の二十一年度事業及び予算等が決定した。

消防団多機能消防車は、十九年度・二十年度の二ケ年で各都道府県消防協会に一台交付されたが、全国的に事業の継続を求める声が強かったため、日本宝くじ協会との協議が整い二十一年度に二十台を交付することが決定した。このほか当日決定された行事・事業は次のとおりとなった。

- 一 第十九回全国女性消防操法大会
二十一年十月二十二日 (横浜市 日本消防協会中央訓練場)
- 二 第二二回全国消防操法大会
平成二十二年十一月十日 (愛知県蒲郡市)
- 三 第二十八回全国消防殉職者慰霊祭
二十一年九月十日 (日本消防会館)
- 四 第十五回全国女性消防団員活性化岡山大会
二十一年十一月五、六日 (岡山市)
- 五 第六十二回日本消防協会定例表彰式
二十二年二月十日 (日本消防会館)
- 六 ヨーロッパ青少年消防オリンピック派遣事業 (新規事業)
二十一年七月十八日〜二十八日にチェコ共和国で行われる同大会に全国から少年消防クラブ四チーム二四名を派遣。(参加費一名二万円)
- 七 ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」の継続実施
- 八 住宅用火災警報器設置推進事業 (新規事業)
 - (一) 住宅用火災警報器消防団員用教本の配布
 - (二) 住宅用火災警報器設置推進ポスターの配布
 - (三) 住宅用火災警報器に関する消防団指導者研修会の実施
- 九 「消太」着ぐるみ貸与事業 (新規事業)
日本消防協会が保有する「消太」着ぐるみを各県消防協会等へ貸し出す事業。



20年度に能代消防団へ交付された車輛

【編集担当から】

平成十九年七月号から本誌の編集を担当してきました消防協会事務局長の菅野が本年三月三十一日付で退職することになったことに伴い、編集担当が交替いたします。皆様には、長年にわたり「消防秋田」をご愛読いただき感謝申し上げます。

今度は、新しい事務局長の手による斬新な紙面構成での新聞を皆様のお手許にお届けすることになるかと存じます。

最後に、秋田県消防の益々の発展と関係者の皆様のご健勝をお祈りいたします。



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
消防報知器各種
消防器具各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
 Ⅱ(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町Ⅱ(0183)(73)2588

株式会社 夕カギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンパイホース
トーハツポンプ	シパウラポンプ
各種消防機械器具	各種消火器
消防設備保守点検	

ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp